日本経済新聞
4月28日
水曜日
発行所　日本経済新聞社
東京本社 ☎(03)3270-0251
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
大阪本社 ☎(06)6943-7111
名古屋支社 ☎(052)243-3311
西部支社 ☎(092)473-3300
札幌支社 ☎(011)281-3211
電子版アドレス
http://www.nikkei.com/
購読のお申し込み
☎0120-21-4946
http://www.nikkei4946.com

色あせた写真復元 早く

ホットアルバムコム ネット経由で

ソフトウエア開発のホットアルバムコム（東京・八王子、小星重治社長）は28日、インターネット経由で古い写真を復元・修整するサービスを始める。独自開発の解析ソフトを使い、写真の色の劣化具合を見極めて元の色に自動修整する。写真のデータを数秒で修整するのが特徴で、価格も1枚500円と低く抑える。初年度は1万枚以上の注文を目指す。

専用サイト「Ever View」を立ち上げサービスを提供する。修整したい写真をデジタルカメラで撮影してサイトにアップすれば、約5秒で色合いの強弱別に5段階の修整の案が提示される仕組み。好みの案を選ぶと、修整された写真のデータをダウンロードできる。代金はクレジットカードなどで決済する。

色があせて顔を判別しにくい写真でも、色合いがはっきりして顔がわかるようになる。

写真は黄色、マゼンタ、シアンの3色を重ねて色を表現している。新サービスは解析ソフトで3色が均等に混ざっている灰色の部分を見つけて、3色がそれぞれどれだけ劣化しているのかを把握。劣化した分を補い、全体の色を自動で復元する。

他社が提供している写真修整サービスは、画像処理ソフトを操作しながら復元する場合が多い。色だけでなく写真のキズなども含めて直せるが、完成までに1～2週間を要し、価格も1枚800円以上かかる。

エイチーム

欧米にパズルゲーム

「フェースブック」で販促

ゲーム開発のエイチーム（名古屋市、林高生社長）は欧米向けにパズルゲームのネット配信を始める。女性を主な対象に、アニメーションを多用して操作を簡略化。仕事や子育てなどの合間に手軽に遊べるような内容に仕立てた。世界で4億人が登録する交流サイトの米フェースブックを販促に活用する。

利用者はソフトをパソコンにダウンロードして楽しむ。利用料金は9ドル99セントで、クレジットカードか米イーベイの決済サービス「ペイパル」で支払う。月内にサービスを始め、毎月2000人への配信を目指す。

フェースブックのサイト上で体験版を提供し、ダウンロード用のサイトに導く。口コミで話題を広げ、利用者の拡大を狙う。交流サイト上で友達と点数を競い合う機能も搭載する計画。米アップルの高機能端末「iPhone（アイフォーン）」でも遊べるようにソフト開発を進める。

国内ではミクシィなどが運営する交流サイトでゲームを提供するベンチャーが増えている。エイチームは国内の10倍以上が利用する海外サイトの集客力をテコにゲームを拡販し、一気に利用者を獲得する戦略だ。

北海道のラーメン店

さんぱち、韓国進出

5年で10店めざす

北海道のラーメン店チェーン大手、さんぱち（札幌市、中秀世社長）は韓国に進出する。5月中旬に釜山市内に1号店を開業する。韓国から北海道には年間10万人以上の観光客が訪れ、札幌名物のみそラーメンの認知度は高い。フランチャイズチェーン（FC）方式を活用して5年後に10店の展開を目指す。

釜山市内の繁華街に座席数40程度の路面店を開く。みそラーメンなどの主力商品の価格を日本円換算で約500円と国内より3割安く設定し、値ごろ感を出す。1号店は直営だが、地元企業とFC契約を結びソウルなど主要都市に出店する。さんぱちは道内を中心に国内で約70店を展開し、中国と台湾でも計10店を営業している。

日本食ブームを追い風に、国内ラーメン店のアジア進出が加速している。九州地盤のラーメン店「味千」を運営する重光産業（熊本市）は中国で約300店を展開、昨年末に韓国にも進出した。

処理「車

理を必要とする部品が大幅に減るため、「脱自動車」を急ぎ、将来の市場の激変に備える。

自動車に依存しない体質作りが各社共通の課題となっている（東京都大田区の上島熱処理工業所）

空機用ア

に強い金

ア、処理を施した後のアルミの強度も従来より3割高い。

電子レンジと同様に高周波で物を振動させて加熱する仕組みで、これまでは熱を放射しやすいアルミには不向きとされていた。新装置は周波数を従来の最大400キロヘルツから2メガ（メガは100万）に高め、アルミが放熱する前に処理を終える。

▼金属熱処理　鉄などの金属を炉に入れて加熱

年内に量産体制を整え、アルミ部品を多用する航空機や鉄道車両向け用途を開拓。今後数年で売上高を2～3割増の17億円程度に引き上げる計画だ。

オリエンタルエンヂニアリング（東京・荒川、木村良三社長）は熱処理後に施す表面処理の技術で新市場の開拓を目指す。高張力鋼などを加工する金型を熱で固めた後、特殊な被膜で覆う手法を開発。金型から金属部品を抜く離型剤を不要にすることで、金型を使った部品加工のコストを2～3割減らせるという。

熱に強くすり減りにくい金属のボロンを含むガスなどを金型に吹き付ける。従来より強度が3割高く、セ氏800度以上の熱にも耐えられる。ダイヤモンドを使用した金型でも600度が限界だった。医療機械や風力発電向けの金型の受注を見込み、売上高を1～2年で現状の15%増の約70億円に増やす。

上島熱処理工業所（東京・大田、上島秀美社長）は航空向けの開拓を進める。東京都の企業10社で構成する航空機部品の生産組織「アマテラス」を窓口に、熱処理工程を引き受ける。

航空機部品用の日本工業規格（JIS）を取得。

三重樹脂

水圧切削で

超高水圧で樹脂などの部材を切断・切削加工す

るウオータージェットカッター（WJC）技術の

三重

打

を建

8億

価格の安い金属を高価な金属に置き換えられる。